

一般社団法人 麒麟のまち観光局

所在地・連絡先

〒680-0846

鳥取県鳥取市扇町3 東栄ビル3F

TEL:0857-50-1785

FAX:0857-50-1786

E-mail:info@kirinnomachi.jp

<https://www.kirinnomachi.jp/jp/>



業務内容

- 地域の観光資源の掘り起こし・観光商品造成事業
- マーケティング調査事業
- 旅行業法に基づく旅行業及び旅行関連事業
- 観光関係人材育成事業
- 観光関連サービスの開発・販売に関する事業
- 地域産品の開発・販売に関する事業
- 地域の広告宣伝事業
- その他当法人の目的を達成するために必要な事業



アイデアが降りたつまち

麒麟のまち

Kirinnomachi

はじめまして。 麒麟のまち観光局です。

地域に根差し、 地域が稼ぐ仕組みづくりを。

一般社団法人麒麟のまち観光局は、この地域が将来にわたって持続可能な社会となるよう、「地域に根差し、地域が稼ぐ仕組みづくり」をテーマとして、観光振興による地域経済の活性化、地方創生の実現を目的に設立いたしました。

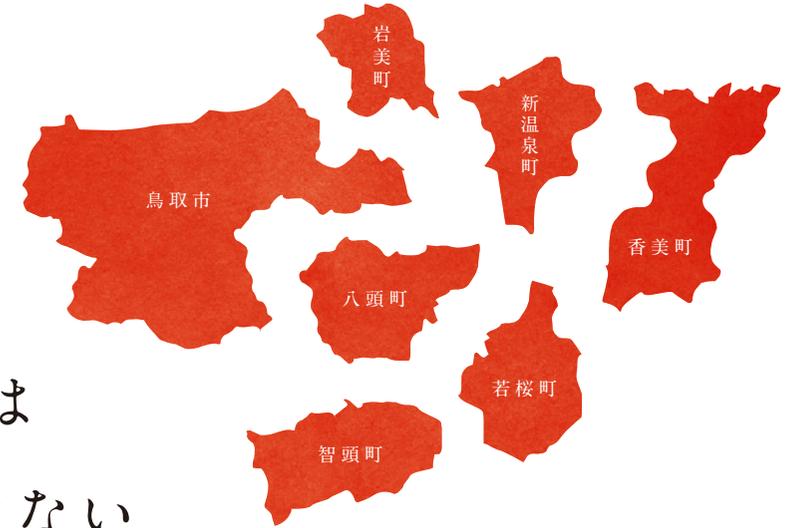
私どもは、事業を通じて地域資源の価値を引き出し、圏域が一体となったブランディングを展開するとともに、「麒麟のまち」に訪れたことがない方へ積極的に情報をお届けし、来訪いただいたお客様には「ぜひ、また麒麟のまちを訪れたい」という感動を提供できるよう、取り組んで参りたいと考えております。

当法人の活動が、地域の皆様方の誇りと愛着を醸成するまちづくりの起点となるよう、取り組んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 麒麟のまち観光局
理事長 宮崎正彦



DMO =
Destination
Machizukuri
Organization



やるべきことは
観光だけではない。
持続可能なまちづくりです。

因幡（鳥取県東部1市4町）・北但西部（兵庫県北西部2町）圏域の鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町・新温泉町・香美町は、古くから歴史や文化、生活圏を共有し、山陰海岸ジオパークと中国山地に囲まれるなど、豊かな自然と山海の幸に恵まれた地域です。

「麒麟獅子舞」が息づくこの地域を「麒麟のまち」圏域と呼び、一市六町が手を組み、観光や移住定住など様々な分野で連携し、住み続けたい、持続可能な魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

「麒麟児」が活躍する 「麒麟」のまち。

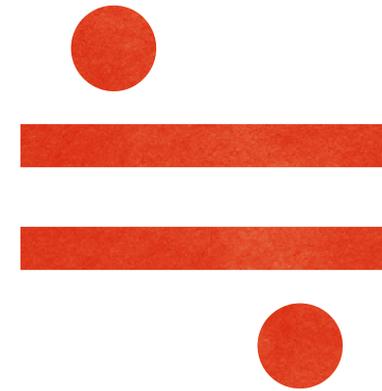
私たちが考える「麒麟のまち」は単に、
この地域に息づく「麒麟獅子舞」だけを指しているわけではありません。

「麒麟」は、龍と鹿と馬の優れた要素を掛け合わせた姿であり、
仁のあふれる地に舞い降りる平和の象徴とも言われる聖獣でもあります。

私たちは、この「麒麟」が持つ本来の意味を大切に、
独自の解釈と、想いを加え「麒麟のまち」観光局と名付けました。

ひらめきやアイデアを持った、事業者様や、住んでいる方々。
胆力、行動力、知力を持ち合わせ果敢にチャレンジする地域の若者。
様々な要素を掛け合わせ創造性(アイデアやコラボ)を発揮する自治体の皆様。
そんな多くの将来大成すると期待される「麒麟児」の方々が活躍し、
ずっと住み続けたいと思えるまちにしたい。
「麒麟のまち」にはそんな想いや意味が込められています。

麒麟獅子舞



麒麟のまち

麒麟のまち観光局の理念

ただいま

「ただいま」「おかえり」が
あふれる麒麟のまち

おかえり

まちに暮らす人々、まちを訪れる人々が、
一つの家族、親戚のように
「ただいま」「おかえり」とあたりまえにつながれるような
笑顔あふれる地域を目指します。

1.

「おもいやり」

訪れた皆様をかけがえのない
大切な家族として、
常に相手をおもいやり、
安心と安全を第一としてふれあいます。



2.

「ようきんさった」

訪れた皆様が豊かな時間を
過ごすことのできるよう、
私たちは「ようきんさった」という
想いを込めてお迎えます。



3.

「ひらめき」

歴史や伝統、まちの魅力を大切にしながら、
「麒麟のひらめき」による
新たなアイデアを加えて、
新しいまちの魅力を生み出します。



4.

「かんどう」

訪れた皆様の期待を超える感動を、
私たちはこのまちへの
誇りと愛着をもとに、
ひたむきにつくり続けます。





「麒麟のひらめき」麒麟アテンションマーク。

麒麟獅子のツノと目をイメージした最小限の図形のみで構成された「麒麟のひらめき」を表すアテンションマーク。アテンションマークには、新たな発見、感動や驚きといった意味が込められており、二つのアテンションマークは「麒麟のまち」がまたがる、二つの県を表し、二つの県が揃うことで、一つの麒麟のまちが完成するということを表現しています。

また、中央のネガ(白い余白)に焦点を当てると、麒麟獅子の角が中央に現れる錯視を利用したアイデアでもあり、あたりまえだと思っていたものも見方を変えれば、新たな価値を**生**むという観光の醍醐味や視点を変えようというメッセージが込められています。



基準のロゴマークをベースに、各市町村バージョンのロゴマークも作成しています。各市町村で使用される際、上記のマークを使用してください。

マークを反転させると、麒麟児に変身！麒麟のまちの人々を想起させるマークに。

